marantz
PROFESSIONAL

Model PMD660 取扱説明書

Portable Solid State Recorder

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

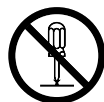
この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



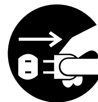
警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

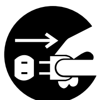
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



指のケガに注意

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は指を挟まれないように注意）が描かれています。





- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



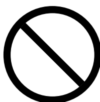
- 雷が鳴り出したら、アンテナ線やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。



警告



● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

● この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

● この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

- この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- この機器を押し入れ、専用ラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● この機器のメモリーカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



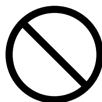
分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



注意



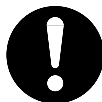
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子 ⊕ とマイナス端子 ⊖ の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。



- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



注意



● オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

● 本機の電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

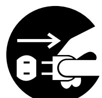
● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

● 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

● 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからACアダプターを抜けるようにしてご使用ください。



● ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。



注意



指のケガに注意



手を挟まれないよう注意

- お子様がメモリーカード挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

ご注意

本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないように、ご注意ください。

本機は、業務用用途の目的を対象として製造されています。
本機を使用して、音楽著作物を録音使用する場合には、各著作権者の許諾を得る必要があります。
著作権者が判明しない場合には、次に示す団体までお問い合わせください。
権利者に許諾なく音楽著作物を使用し、権利者との間でトラブルが生じたとしても、弊社は責任を負いかねます。

お問い合わせ先は、日本音楽著作権協会（JASRAC）の本部、または最寄りの支部になります。

日本音楽著作権協会

本　部　〒151-8540　東京都渋谷区上原 3-6-12
TEL (03)3481-2121（大代表）

北海道支部　（業務地域 北海道）
〒060-0001 札幌市中央区北一条西3-2 井門札幌ビル7階
TEL (011)221-5088（代表）　FAX (011)221-1311

盛 岡 支 部　（業務地域 岩手・青森・秋田）
〒020-0034　盛岡市盛岡駅前通 15-20　ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL (019)652-3201（代表）　FAX (019)652-4010

仙 台 支 部　（業務地域 宮城・山形・福島）
〒980-0021　仙台市青葉区中央 2-2-6　三井住友銀行仙台ビル
TEL (022)264-2266（代表）　FAX (022)265-2706

長 野 支 部　（業務地域 長野）
〒380-0823　長野市南千歳2-12-1　アクサ長野ビル
TEL (026)225-7111（代表）　FAX (026)223-4767

大 宮 支 部　（業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟）
〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町 1-7-5　ソニックシティビル
TEL (048)643-5461（代表）　FAX (048)643-3567

上 野 支 部　（業務地域 台東・文京・荒川・葛飾・足立・北各区・茨城）
〒110-0005　東京都台東区上野2-7-13
JTB損保ジャパン上野共同ビル
TEL (03)3832-1033（代表）　FAX (03)3832-1040

東 京 支 部　（業務地域千代田・中央・港・墨田・江東・品川・大田・江戸川各区・島しょ部・千葉）
〒104-0061　東京都中央区銀座 1-3-9　実業之日本社銀座ビル
TEL (03)3562-4455（代表）　FAX (03)3562-4457

西東京支部　（業務地域 新宿・目黒・世田谷・渋谷・中野・杉並・豊島・板橋・練馬各区）
〒160-0023　東京都新宿区西新宿1-17-1　日本生命新宿西口ビル
TEL (03)5321-9530（代表）　FAX (03)3345-5750

東京イベント・コンサート(EC)支部　（業務地域　東京都・千葉・茨城・山梨）
＊コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160-0023　東京都新宿区西新宿1-17-1　日本生命新宿西口ビル
TEL (03)5321-9881（代表）　FAX (03)3345-5760

立 川 支 部　（業務地域 東京都市部、郡部（島しょ部を除く）・山梨）
〒190-0012　立川市曙町 2-37-7　コアシティ立川
TEL (042)529-1500（代表）　FAX (042)529-1515

横 浜 支 部　（業務地域 神奈川）
〒231-0005　横浜市中区本町1-3　綜通横浜ビル
TEL (045)662-6551（代表）　FAX (045)662-6548

静 岡 支 部　（業務地域 静岡）
〒420-0857　静岡市葵区御幸町 11-30　エクセルワード静岡ビル
TEL (054)254-2621（代表）　FAX (054)254-0285

中 部 支 部　（業務地域 愛知・岐阜・三重）
〒450-0003　名古屋市中村区名駅南 1-24-30　名古屋三井ビル本館
TEL (052)583-7590（代表）　FAX (052)583-7594

北 陸 支 部　（業務地域 石川・富山・福井）
〒920-0853　金沢市本町 1-5-2　リファーレ
TEL (076)221-3602（代表）　FAX (076)221-6109

京 都 支 部　（業務地域 京都・滋賀・奈良）
〒600-8008　京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8　京都三井ビル
TEL (075)251-0134（代表）　FAX (075)251-0414

大 阪 支 部　（業務地域 大阪・和歌山）
〒542-0081　大阪市中央区南船場 4-3-11　豊田ビル
TEL (06)6244-0351（代表）　FAX (06)6244-1970

神 戸 支 部　（業務地域 兵庫）
〒650-0024　神戸市中央区海岸通6番地　建隆ビルII
TEL (078)322-0561（代表）　FAX (078)322-0975

中 国 支 部　（業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730-0021　広島市中区胡町 4-21　朝日生命広島胡町ビル
TEL (082)249-6362（代表）　FAX (082)246-4396

四 国 支 部　（業務地域 香川・徳島・高知・愛媛）
〒760-0019　高松市サンポート 2-1　高松シンボルタワー
TEL (087)821-9191（代表）　FAX (087)822-5083

九 州 支 部　（業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 2-1-1　福岡朝日ビル
TEL (092)441-2285（代表）　FAX (092)441-4218

鹿児島支部　（業務地域 鹿児島・宮崎）
〒892-0842　鹿児島市東千石町 1-38　アイムビル
TEL (099)224-6211（代表）　FAX (099)224-6106

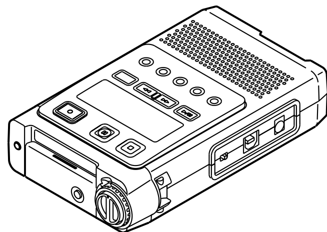
那 覇 支 部　（業務地域 沖縄）
〒900-0015　那覇市久茂地 1-3-1　久茂地セントラルビル
TEL (098)863-1228（代表）　FAX (098)866-5074

(2006年1月16日現在)

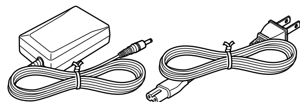
Table of Contents

梱包の内容

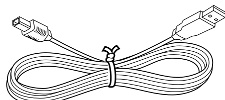
- PMD660本体



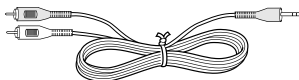
- ACアダプター



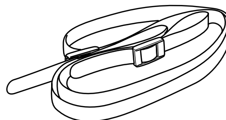
- USBケーブル



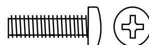
- オーディオケーブル



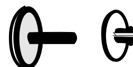
- ストラップ



- CFカードドア用セキュリティネジ（2個）
  ISO 3x10（3 mm x 10mm）



- プラスチックピンとリテーナー
  （CFカードドアセキュリティ用予備部品）



- ユーザガイド（本書）

はじめに

このたびはMarantz Professional PMD660ポータブルソリッドステートレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。PMD660はCompact Flash™メモリーカード（CFカード）またはMicrodrive™にデジタルオーディオフォーマットで録音するオーディオレコーダーです。
CFカードは、デジタルカメラでも使用されており、家電販売店やコンピュータ販売店で広く販売されております。

特長

- ステレオ（2チャンネル）とモノラル（1チャンネル）のオーディオ録音および再生。

- 以下のオーディオ入力が可能です:
  - 内蔵マイクロホン
  - MIC INジャックに接続されたコンデンサーマイクロホンもしくはダイナミックマイクロホン
  - LINE INジャックに接続されたライン入力のオーディオソース

- 以下の音声出力が可能です:
  - 内蔵スピーカー
  - PHONESジャックに接続されたヘッドホン
  - LINE OUTジャックに接続されたアンプやその他のアナログオーディオ機器

- コンピュータ対応
  PMD660はCFカードに直接録音します。
  PMD660からCFカードを取り出すか、ご使用のコンピュータにPMD660をUSBポート経由で接続すれば、録音内容をデスクトップやラップトップコンピュータに転送できます。
  一般的なMP3圧縮フォーマットで録音されたオーディオが、イントラネットやインターネットでのファイルの共有にそのまま使用できます。
  - MS-DOS™とWindows互換ファイルシステム

- 簡単な録音
  1回の操作で録音を開始します。RECボタンを押すだけです。

- 自動録音
  PMD660は、音声がないときは録音を停止し（Silent Skip)、音声が再開すると自動的に録音を開始するよう設定できます。
  PMD660は、同じような録音開始ポイントでEDLマークをトラックに自動的に追加するよう設定できます。(Auto Mark)

- 手動と自動の録音レベルコントロール（ALC)。

- 2種類の異なる録音フォーマット:
  - 圧縮録音は、MPEG1 Layer III（MP3）モノラルおよびステレオを使用しています。
  - MP3は128kbps（ステレオ）もしくは64kbps（モノラル）で圧縮します。
  - 非圧縮録音は、16ビットリニアパルスコード変調（PCM）を使用しています。

- セキュリティ - CFカード
安全のため、CFカード挿入部のドアをネジで固定することができます。CFカード挿入部のドアを開くためには工具が必要となりますので､CFカードの不用意な取り外しを減少させます。

- 録音開始前の音声を2秒間録音します。(Pre-Recording)

- 再生のアシスト
長時間の音声やその他の録音によくある事として、再生したい特定の場所の検索が困難になります。PMD660には､特定の録音開始位置にマークを付ける複数の方法があります。

- トラック
  - 録音を開始するたびに、新規トラック（ファイル）が自動的に作成されます。
  - 録音が消去されない限り、以前に録音されたトラックに上書き録音はできません。
  - Auto Track機能では、毎分もしくはその他の選択可能な録音間隔でトラックを追加することができます。
（Minuteトラック: 間隔を1分に設定すると、録音の毎分ごとに新規トラックを作成し、長時間の音声録音を時間によってナビゲートできます。）
  - RECボタンを押すと、録音中に新規トラックを開始することができます。（"Manual Trk"をOnにプリセットした場合）

- EDLマーク*
EDL（Edit Decision List）マークは録音中に手動、もしくは自動で作成することができます。EDLマークは、録音中のこのような特定ポイントを検出する役に立ちます。

- 再生中にEDLマークの場所を瞬時に特定することができます。
- CFカードには最大255個のEDLマークを追加することができます。
EDLマークには、1から始まる連続した番号が付けられます。
録音中にMARKボタンを押すと､手動でEDLマークが追加できます。
EDLマークは自動的に追加することもできます。

* EDLマーキングシステムは、Marantz Professionalのソリッドステートレコーダ独自のものです。

- バーチャルトラック
「バーチャルトラック」は、録音後に直接再生アクセスができるようにインポイントとアウトポイントをファイル内に設定できる機能です。

- セグメントのコピー
「セグメントのコピー」は標準的なワードプロセッシングプログラムのコピー&ペースト機能と同様の働きをします。
インポイントとアウトポイントを設定することでトラック(ファイル)の一部分を「ハイライト」させ、次いでオリジナルのトラック(ファイル)を破壊することなく新規のトラック(ファイル)にその部分を貼り付けることができます。

- 設定
選択可能な3つのプリセットメニューにより、通常使用する入力、録音フォーマット、その他のメニュー項目を簡単に切り換えられます。

- 日時
本機内で設定されている時間/日付をそれぞれのトラックに記録します。

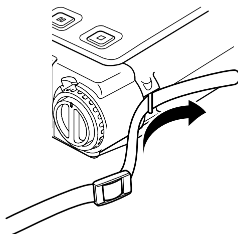
- PMD660は以下の3つの電源方式に対応しています:
  - 付属のACアダプター
  - 単3アルカリ乾電池（約4時間）
  - 充電式ニッケル水素電池

- オプションのRC600PMDを使用すれば、ワイヤードリモートボタンで録音がコントロールできます。

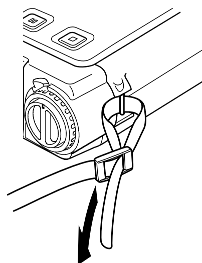
準備

ストラップの取り付け

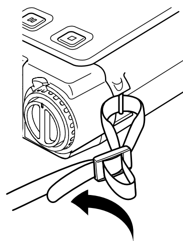
1. ベルトを本体のストラップ軸に通します。



2. ベルトをストラップのストッパーに通します。

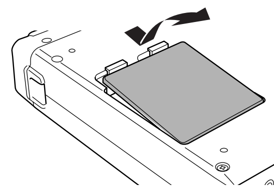


3. 更にベルトをストッパーに通してベルトを固定します。

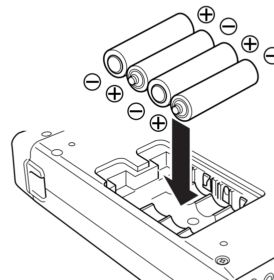


電池の取り付け方

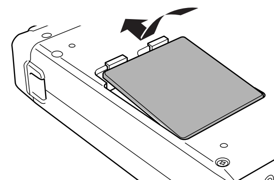
1. 電池ケースカバーを取り外します。



2. 新しい電池（単三形）を、極性（プラス/マイナス）を合わせて差し込みます。

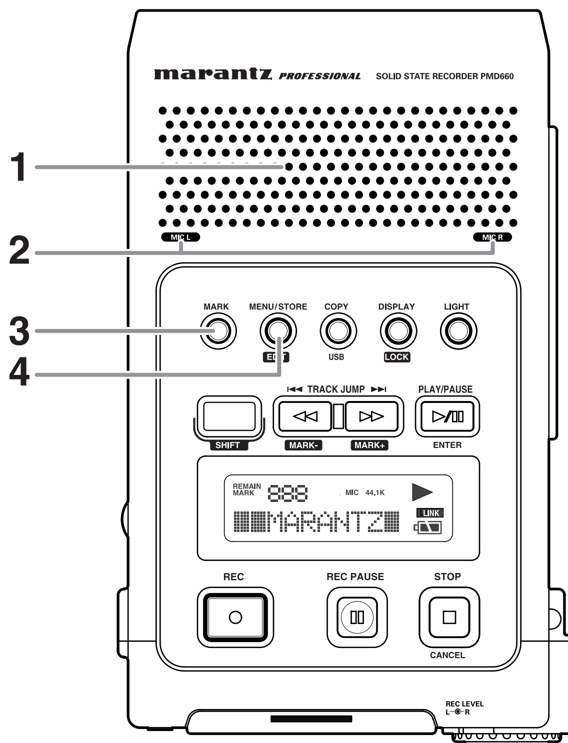


3. 電池ケースカバーを閉じます。



各部の名称と動作

上面



1. スピーカー
プリセットメニューの"Output"を"SP/HP"または"SP/HP+LINE"に設定すると、再生されたオーディオ信号は内部スピーカーに出力されます。PHONESジャックにヘッドホンを差し込むと内蔵スピーカーからは音がでません。音量はHP/SPK VOLコントロールで内蔵スピーカーとヘッドホンを調節します。
43ページの「再生用出力を選択する方法」をご参照ください。

2. MIC（内蔵マイクロホン）

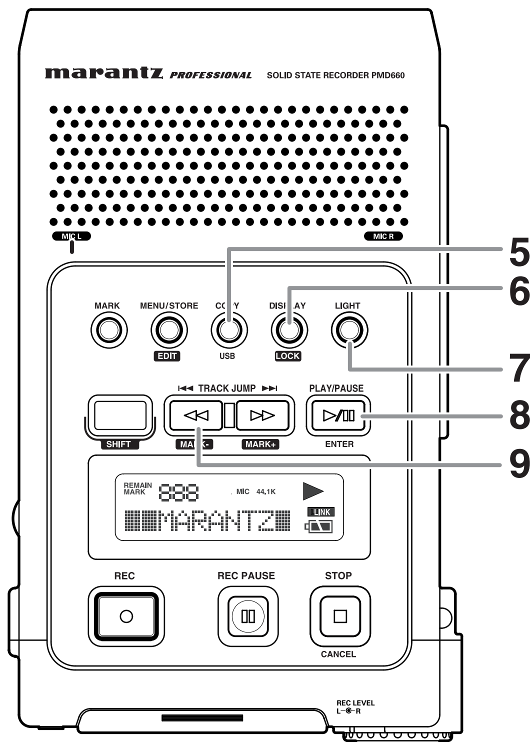
3. MARKボタン
一時停止、録音、もしくは再生中にこのボタンを押すと、EDLマークが手動で追加されます。
内蔵マイクロホンを使用している場合、録音中にボタンを押してEDLマークを追加すると、押した時のクリック音が録音される場合があります。（25ページ参照）

4. MENU / STORE / EDITボタン

- MENU
停止状態でこのボタンを押すと、メニューが表示され、入力の変更や日時の設定など、録音再生パラメータの設定や変更ができます。

- STORE
プリセットメニューの変更中にSTOREボタンを押すと、メニュー変更が書き込まれて停止モードに戻ります。 プリセットパラメータを設定もしくは変更する方法については、41ページをご参照ください。

- EDIT
停止状態でSHIFTボタンを押したままこのボタンを押すと、Editメニューが表示され、トラックの消去、EDLマークの消去、CFカードのフォーマットができます。



5. COPY / USBボタン

• Copy（セグメントのコピー）

再生中にこのボタンを押すと、コピーモードになり、コピーの開始位置と終了位置を設定することができます。
セグメントコピーの方法については、29ページ「バーチャルトラック」と「セグメントのコピー」をご参照ください。

● USB

このボタンを押したまま、PMD660のPOWERスイッチをONにして電源を入れます。
PMD660内のCFカードは、接続されたコンピュータに外付け装置として認識されます。
USBポート経由の接続については、36ページをご参照ください。

6. DISPLAY / LOCKボタン

• DISPLAY

このボタンを押すと、表示内容が切り替ります。
表示される情報は停止、録音、再生によって異なります。
詳細については40ページの「ディスプレイ」をご参照ください。

• LOCK

PMD660を録音、再生、もしくは停止の状態でロックします。
SHIFTボタンを押したままDISPLAY/LOCKボタンを押すと、LIGHTボタンを除いてすべての機能がロックされます。

7. **LIGHTボタン**
このボタンを押すと、ディスプレイライトが点灯します。
LIGHTボタンを1秒間押し続けると、ディスプレイライトが点灯したままになります。もう一度LIGHTボタンを押すと、ディスプレイライトは消えます。

8. **PLAY/PAUSE / ENTERボタン**
- **PLAY/PAUSE（再生）**
停止状態で、このボタンを押すと再生がスタートします。
再生中に、このボタンを押すと一時停止します。
再生ポーズ中に押すと再生が再開します。

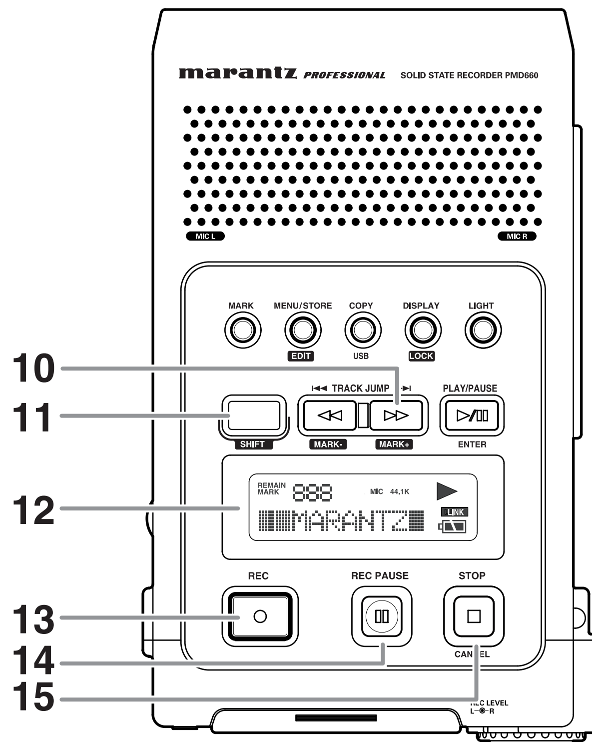
- **ENTER（メニュー）**
メニュー機能の操作中に、このボタンを押すと、現在の設定が確定して次のメニュー項目に切り替わります。

9. **TRACK JUMP ⏮ / ◀◀ / MARK- ボタン**
- **TRACK JUMP ⏮**
再生中に、このボタンを押すと、前のトラックにジャンプします。
最初のトラックを再生している間に、このボタンを押すと、CFカードの最後のトラックにジャンプします。

- **◀◀**
  - 再生中に ◀◀ ボタンを押したまま「巻き戻す」と、2倍速で逆方向のオーディブルサーチ(聴きながらの検索)ができます。ボタンをはなすと通常の順方向再生に戻ります。
  - 再生ポーズ中に、◀◀ ボタンを押したままにすると、高速で逆方向のサーチができます。逆方向のサーチの速度は、最初の3秒間は10倍速、その後140倍速まで自動的にスピードアップします。

注記:
◀◀ ボタンを押し続けて、トラックの先頭を過ぎた場合、前のトラックに移動して逆方向のサーチが継続します。
Editメニューまたは Menu機能の操作中に、◀◀ ボタンを押すと、パラメータがマイナス方向に増加します。

- **MARK-**
停止の状態で、SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すと、CFカードのEDLマーク間を進み移動できます。
表示されているEDLマークから再生を開始するためには、PLAY/PAUSEボタンを押します。



10. TRACK JUMP ▶▶| / ▶▶ / MARK+ ボタン

- TRACK JUMP ▶▶

  再生中に、このボタンを押すと、次のトラックにジャンプします。最後のトラックを再生している間に、このボタンを押すと、CFカードの最初のトラックにジャンプします。

- ▶▶
  - 再生中に▶▶ ボタンを押し続けると、2倍速で順方向に聴きながらサーチの（オーディブルサーチ）ができます。ボタンをはなすと通常の順方向再生に戻ります。
  - 再生ポーズ中に、▶▶ ボタンを押したままにすると、高速で順方向のサーチができます。順方向のサーチの速度は、最初の3秒間は10倍速、その後140倍速まで自動的にスピードアップします。

注記:

▶▶ ボタンを押し続けて、トラックの先頭を過ぎた場合、次のトラックに移動して順方向のサーチが継続します。
Editメニューと Menu機能の操作中に、▶▶ このボタンを押すと、パラメータがプラス方向に進みます。

- MARK+

  停止の状態で、SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すと、CFカードのEDLマーク間を移動できます。
  表示されているEDLマークから再生を開始するためには、PLAY/PAUSEボタンを押します。

11. SHIFTボタン

このボタンを押したまま、白抜き文字のあるボタンを押すと、押したボタンの別の機能に切り替えることができます。

12. ディスプレイ

表示内容によって、PMD660の状態を示します。

13. RECボタン

停止状態で、このボタンを押すと、録音がスタートします。
録音のポーズ中にこのボタンを押すと、録音が再びスタートします。
プリセットメニューでManual Trk.をオンにしていれば、録音中に押すとトラックが増加します（新規のオーディオファイルが開始します）。
録音を停止するには、STOP/CANCELボタンを押します。

14. REC PAUSEボタン

停止状態で押すと、録音ポーズが開始されます。この状態で録音前に録音レベルを確認することができます。
録音中に、このボタンを押すと、録音ポーズ状態になります。
録音のポーズ中は、RECインジケーターが点滅します。

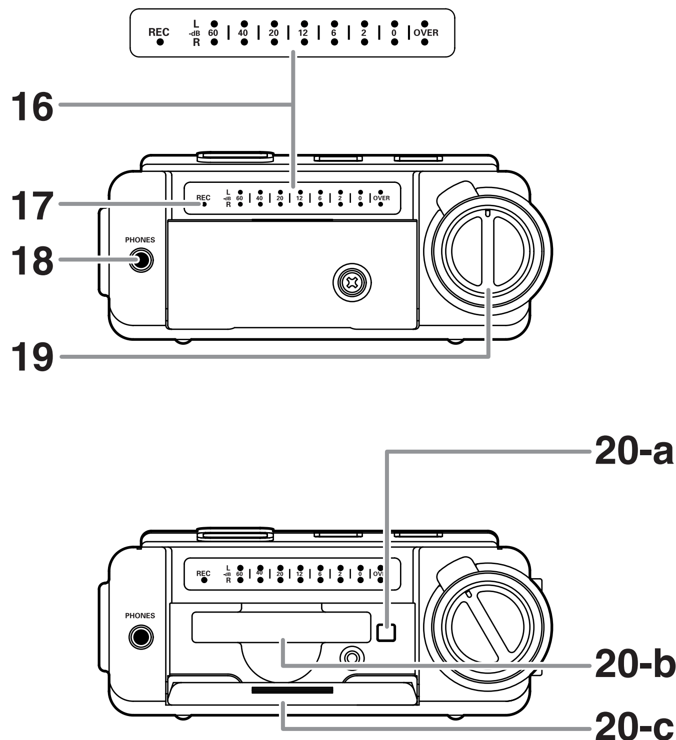
15. STOP/CANCELボタン

- **STOP**

  録音中に、このボタンを押すと録音が停止しトラック（ファイル）が終了します。
  再生中に、このボタンを押すと再生が停止します。
  再び再生すると、現在のトラックの先頭からスタートします。

- **CANCEL**
  - メニュー操作中に、このボタンを押すと、すべてのエントリー設定中の内容がキャンセルされて停止状態になります。

正面



16. レベルメーター

レコーダーの左右のチャンネルに入力される音が大きいほど、LEDランプが数多く表示されます。プリセットメニューの"Meter Mode"が"Peak Only"の設定時は、ピークレベルだけが表示されます（51ページ参照）。

17. RECインジケーター

録音中は点灯状態になり、録音のポーズ中は点滅状態になります。

18. PHONESジャック

ステレオヘッドホンのプラグをここに差し込みます。
プリセットメニューの"Output"をSP/HPに設定してください。（43ページ参照）

19. REC LEVEL調整つまみ

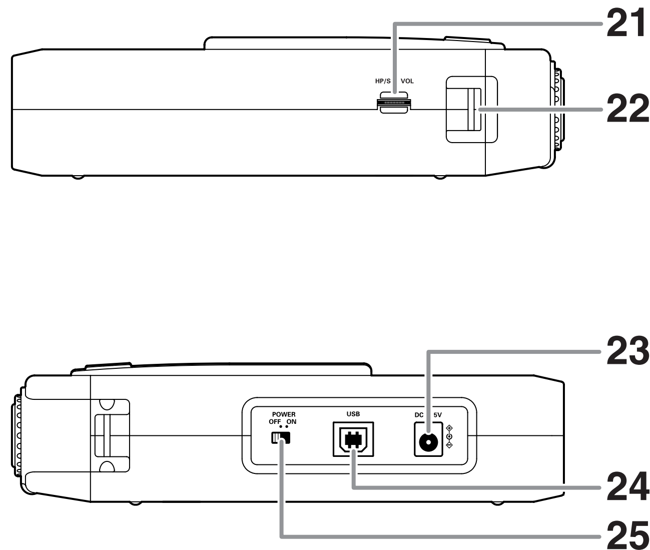
プリセットメニューの"LevelCont"が"Manual"または"ALC+Manual"の設定時は、このつまみを回して録音レベルを調整します。
内側つまみ（右チャンネル）または外側つまみ（左チャンネル）は、一方を回している間は、他方を押さえていないと一緒に回ります。
録音時は、レベルメーターが可能な限り0 dBに近くなるようつまみを回してください。

20. CFカード挿入部

CFカードを装着したり取り出したりするときの挿入口です。

20-a. CFカードイジェクトボタン
20-b. CFカードスロット
20-c. CFカードドア

左側/右側



21. HP/SPK VOL調整つまみ

このつまみを回して、PHONEジャックに差し込まれたヘッドホンもしくは内蔵スピーカーの音量を調整します。
内蔵マイクロホンで録音するときは、内蔵スピーカーのからの音声は自動的に中断されます。

22. ストラップ取り付け軸

付属のストラップを取り付けます。

23. DC INジャック

付属のACアダプターのプラグを差し込みます。
供給電力はDC5V、2.0Aです。
バッテリー電源で使用中にACアダプターのプラグを差し込むと、PMD660は自動的にアダプター電源に切り替わります。
また、ACアダプターのプラグを抜くと、PMD660は自動的にバッテリー電源に切り替わります。

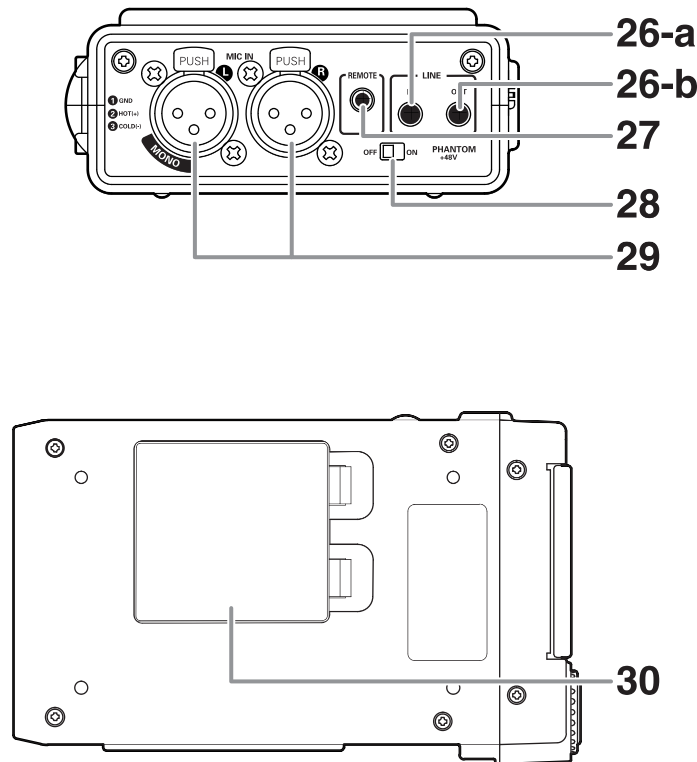
24. USBポート

付属のUSBケーブルを差し込み、もう一方の端子をコンピューターに接続します。

25. 電源スイッチ

このスイッチをスライドして、電源のオン/オフします。

背面



26. LINE IN/OUTジャック
ライン入力にて外部オーディオ装置のプラグを差し込みます。

a. LINE IN
ステレオオーディオケーブルのプラグを差し込んで、外部オーディオ装置からの出力を録音します。

b. LINE OUT
ステレオオーディオケーブルのプラグを差し込んで、アンプなどの外部オーディオ装置の入力端子を接続します。
プリセットメニューの"Output"を"LINE"または"SP/HP+LINE"に設定してください。(43ページ参照)

27. REMOTEジャック
このジャックには、別売りのワイヤードリモート装置、RC600PMDを接続します。RC600PMDには録音インジケーターランプがあります。
RC600PMDでは以下の操作が可能です。
- 録音の開始（RECボタンと同様）
- 録音のポーズ（REC PAUSEポーズボタンと同様）
- EDLマークの追加（MARKボタンと同様）

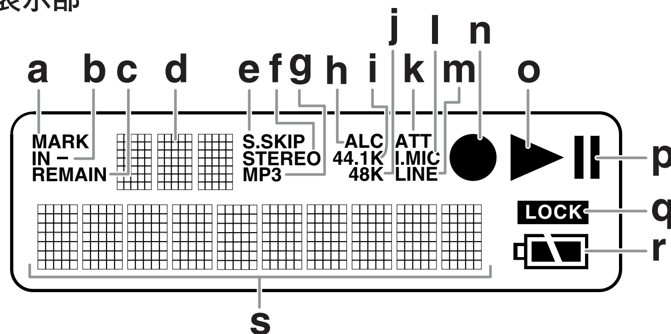
RC600PMDはTRRS（Tip Ring Ring Sleeve）コネクタ経由で接続します。

28. PHANTOM電源スイッチ
このスイッチをオンにすると、コンデンサーマイクロホンに+48Vの電源が供給されます。

29. MIC INジャック
外部マイクロホンのプラグを差し込みます。
モノラル録音する時は、L側のジャックに差し込みます。

30. バッテリーケース
バッテリーケースカバーを開き、電池を入れます。

表示部



a. MARK
 上側の英数字ディスプレイ（d部分）に表示される数字が何番目のEDLマークかを示すために表示されます。

b. IN-
 「セグメントコピー」機能で先頭（開始位置）が設定されると表示されます。

c. REMAIN
 残り時間を示すために表示されます。

d. 上側の英数字ディスプレイ
 トラック番号、CFカード上のトラック数、EDLマーク番号、CFカード上のEDLマーク数が表示されます。

e. S.SKIP
 サイレントスキップ機能が有効になると表示されます。

f. STEREO
 録音チャンネルがステレオのときに表示されます。

g. MP3
 録音された音声ファイルがMP3のときに表示されます。

h. ALC
 録音入力レベルが自動で設定されるとき（AUTO LEVEL CONTROL）に表示されます。（22ページ参照）

i. 44.1K
 録音されたサンプル周波数が44,1KHzのときに表示されます。

j. 48K
 録音されたサンプル周波数が48KHzのときに表示されます。

k. ATT
 MIC INジャックに接続されたマイクロホンからの入力が20dB減衰されると表示されます。

l. I.MIC/MIC
 録音用に選択された入力が内蔵マイクロホンのときにI.MICが表示されます。
 外部マイクロホンが選択されるとMICが表示されます。

m. LINE
 録音用に選択された入力がLINE INのときに表示されます。

n. 録音
 録音モードにあるときに表示されます。録音時は再生アイコンと共に表示されます。録音ポーズ時には点滅表示されます。

o. 再生
 再生、再生ポーズ、録音、録音ポーズにあるときに表示されます。

p. 一時停止
 再生または録音のポーズにあるときに表示されます。

q. LOCK
 キーロック状態にあるときに表示されます。

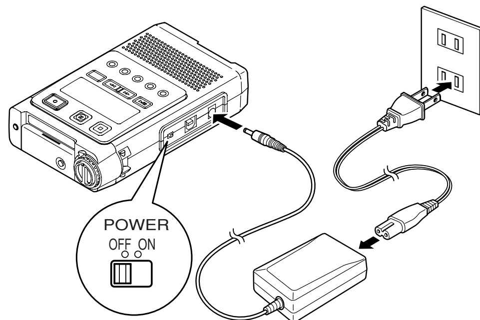
r. バッテリー
 バッテリー残量が表示されます。

s. 下側の英数字ディスプレイ
 残り時間、クロックタイム、メニュー設定など、さまざまな情報を表示します。

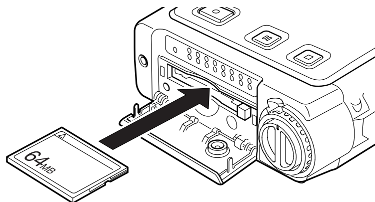
基本操作

PMD660の工場出荷時の設定は、内蔵（内部）マイクロホンを使用して音声を録音するように設定されています。

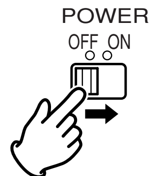
1. 箱からACアダプターとPMD660を取り出します。
   a. 家庭用電源にACアダプターのプラグを差し込みます。
   b. ACアダプターをPMD660のDC INジャックに差し込みます。



2. CFカードを差し込みます。
   CFカードの装着については17ページをご参照ください。



3. POWERスイッチをON側にスライドさせて電源を入れます。



   a. 表示部が全表示されます。PMD660が初期化されるまでお待ちください。

Loading

   b. ディスプレイは以下のように、CFカードについての表示に変わります。

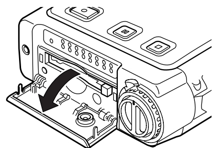


CFカード

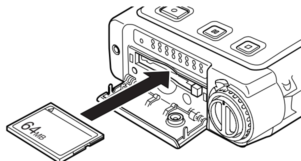
PMD660は各種のCF(Compact Flash)カードへの録音に対応しています。
推奨メディアについては、弊社営業所にご確認ください。

CFカードの差し込み方

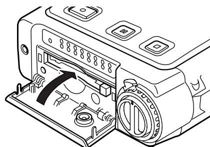
a. CFカードドアを開けます。



b. CFカードを奥まで差し込みます。



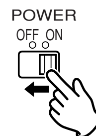
c. CFカードドアを閉じます。



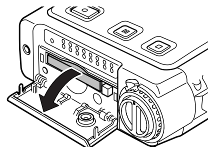
注記:
CFカードドアがカチッと閉らない場合は、カードイジェクトボタンがイン位置になっているかどうか確認してください。

CFカードの取り出し方

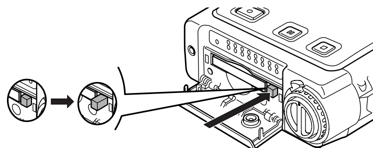
a. POWERスイッチをOFF側にスライドさせて電源を切ります。



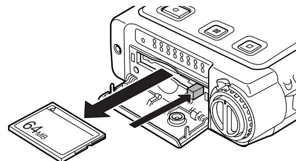
b. CFカードドアを開けます。



c. カードイジェクトボタンがアウト位置になるように押します。



d. カードイジェクトボタンを押して、CFカードを取り出します。

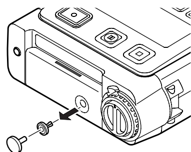


- 電源オンの状態でCFカードドアが開いていると、"Door Open"が表示されて、PMD660の電源が切れます。
- 録音中にCFカードドアが開くと、自動的に録音が停止し、電源が切れます。

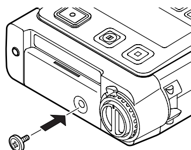
CFカードのセキュリティ

付属のCFカードドア用セキュリティネジは、CFカードドアを開けるために小型の十字ドライバーを使います。これによって、CFカードの置き忘れや盗難が低減されます。

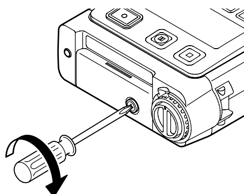
a. プラスチックピン、リテーナーの順で取り外します。



b. ネジを挿入します。



c. 爪等でネジを取り外すことができないように、小型の十字ドライバーでネジをしっかり締めてください。



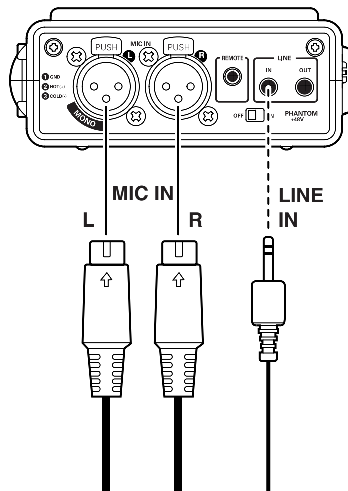
CFカードのフォーマット

CFカードをフォーマットすると、CFカード上のすべてのオーディオファイルが消去され、PMD660で使用できるようになります。CFカードがFAT16やFAT32（FAT = ファイルアローケーションテーブル）以外の形式でフォーマットされていた場合は、ご使用のコンピュータでフォーマットしてください。

Editメニューの"**Format**"を設定します（28ページ参照）。

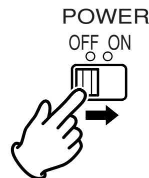
録音

結線図

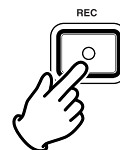


録音手順

1. POWERスイッチをON側にスライドさせて電源を入れます。



2. RECボタンを押すと、録音を開始します。



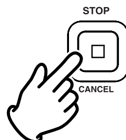
録音中は録音インジケーターが点灯したままになります。
表示部には録音時の情報が表示されます（40ページ参照）。



3. REC PAUSEボタンを押すと、録音を一時停止します。



4. STOPを押すと、録音が停止してトラックが終了します（オーディオファイルを閉じます）。



ディスプレイには停止時の情報が表示されます。



録音用音声の入力

録音用の音声入力はInputメニューを使用して選択します。

チャンネル: ステレオ

表示	入力メニュー
I.MIC	内蔵マイク録音（ステレオ、L/Rチャンネル）
MIC	外部マイク録音（ステレオ、L/Rチャンネル）
LINE	LINE録音（ステレオ、L/Rチャンネル）

チャンネル: モノラル

表示	入力メニュー
I.MIC	内蔵マイク録音（モノラル、Lチャンネル）
MIC	外部マイク録音（モノラル、Lチャンネル）
LINE	LINE録音（モノラル、Lチャンネル）

プリセットメニューの"**Input**"（43ページ参照）と"**RecChannel**"（45ページ参照）を設定します。

録音フォーマットのパラメータ

PMD660は複数の圧縮方法で録音できます。

- MPEG1 Layer III（MP3）モノラルおよびステレオを使用した圧縮録音。
- 16ビットリニアパルスコード変調（PCM）を使用した非圧縮録音。

チャンネル: ステレオ

RecFormat	サンプリング周波数	ビットレート	ファイル拡張子
MP3-44.1kHz	44.1kHz	128 kbps	.mp3
MP3-48kHz	48kHz	128 kbps	.mp3
PCM-44.1kHz	44.1kHz	1412 kbps	.wav
PCM-48kHz	48kHz	1536 kbps	.wav

チャンネル: モノラル

RecFormat	サンプリング周波数	ビットレート	ファイル拡張子
MP3-44.1kHz	44.1kHz	64 kbps	.mp3
MP3-48kHz	48kHz	64 kbps	.mp3
PCM-44.1kHz	44.1kHz	705.5 kbps	.wav
PCM-48kHz	48kHz	768 kbps	.wav

PCMの録音ファイルはBWF（Broadcast Wave Format）です。

プリセットメニューの"**RecFormat**"と"**RecChannel**"を設定します（45ページ参照）。

録音時間チャート

すべての時間は概算の録音時間です。

エラー補正の余地を見るために、各メディアの容量と概算の録音時間数の対比は、各メディアの製造会社により多少異なります。

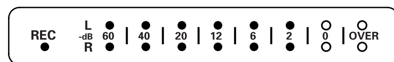
	ビットレート	64 kbps	128 kbps
	.mp3	モノラル	ステレオ
カード サイズ	32 MB	1:06	0:33
	64 MB	2:13	1:06
	128 MB	4:26	2:13
	256 MB	8:52	4:26
	340 MB	11:46	5:53
	512 MB	17:44	8:52
	(1GB) 1024MB	35:28	17:44
	(2GB) 2048MB	70:56	35:28
	(4GB) 4096MB	141:52	70:56

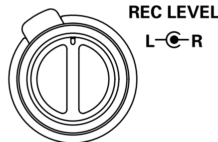
	サンプリング周波数	44.1 kHz	
	PCM	モノラル	ステレオ
カード サイズ	32 MB	0:06	0:03
	64 MB	0:12	0:06
	128 MB	0:24	0:12
	256 MB	0:48	0:24
	340 MB	1:04	0:32
	512 MB	1:36	0:48
	(1GB) 1024MB	3:13	1:36
	(2GB) 2048MB	6:27	3:13
	(4GB) 4096MB	12:54	6:27

	サンプリング周波数	48 kHz	
	PCM	モノラル	ステレオ
カード サイズ	32 MB	0:05	0:02
	64 MB	0:11	0:05
	128 MB	0:22	0:11
	256 MB	0:44	0:22
	340 MB	0:59	0:29
	512 MB	1:28	0:44
	(1GB) 1024MB	2:57	1:28
	(2GB) 2048MB	5:55	2:57
	(4GB) 4096MB	11:51	5:55

録音レベルコントロール
録音レベルコントロールで入力レベルコントロールの種類を選択することができます。

- Manual: REC LEVEL調整つまみを使って入力レベルをコントロールします。





- この内側つまみ（右チャンネル）と外側つまみ（左チャンネル）は、一方を回している間他方を押さえていない限り一緒に回ります。
- 録音時は、レベルメーターが可能な限り0 dBに近くなるようつまみを回してください。

- ALC（自動レベルコントロール）: 録音入力レベルを自動で設定します。
- ALC+Manual: ALCを選択し、更に録音レベルを微調整することができます。

プリセットメニューの"**LevelCont.**"を設定します（50ページ参照）。

マイクロホンアッテネーター
マイクロホン減衰スイッチで、感度が異なるマイクロホンを直接使用することができます。
- 0dB: マイクロホンの減衰はありません。
- -20dB: MIC INジャックに接続されたマイクロホンからの入力が20dB減衰されます。

プリセットメニューの"**Mic Atten.**"を設定します（51ページ参照）。

プリレック
プリセットメニューのPreRecordがOnでPMD660が録音ポーズの状態にあるときは、PMD660は選択された音声入力を常に2秒間蓄えています。
そして、録音が開始されると、PMD660は前に蓄えていた2秒間のオーディオをカードに書き込み、そこから録音を継続します。

プリセットメニューの"**PreRecord**"で設定します（46ページ参照）。

サイレントスキップ（自動ポーズ録音）
サイレントスキップは、録音中無音の時間があると録音を自動的に一時停止し、音が入ると録音を自動的にスタートします。

Silent Skipメニュー設定では以下ができます:
- サイレントスキップのOn/Off
- -60dB、-54dB、-38dB、-20dBの無音部分を定義するマージンサウンドレベルを調節します。

プリセットメニューの"**Silent Skip**"を設定します（49ページ参照）。

手動によるトラックの追加
プリセットメニューのManual Trkがオンのときは、録音中にRECボタンを押すとトラック数が増えます。
この時点で新規トラックが作成されます。

注記:
トラックの切り替わり目では、カードのスピードや録音した時間によっては音のとぎれが発生する事があります。

プリセットメニューの"**Manual Trk**"を設定します（46ページ参照）。

トラックの自動追加

プリセットメニューのAuto Trkがオンのときは、指定された録音時間間隔で新規トラックが自動的に始まります。
Automatic Trackは、1、5、10、15、30分ごと、もしくは1、2、6、8、12、24時間ごとにトラックが増えるように設定できます。
Automatic Trackによって、録音の特定のポイントを簡単に検索できます。例えば、新規トラックが1分ごとに開始されるとします。Minute Trackでは、トラック番号と時間との関係上、再生中に特定のパッセージをより簡単に見つけることができます。再生中にトラック3を選べば、録音のおよそ3分目を再生することができます。10分目の先頭へ直接行くには、トラック10を選択するなど、以下同様です。

トラック ＃	録音時間 分:秒
1	0:00 – 1:00
2	1:01 – 2:00
3	2:01 – 3:00

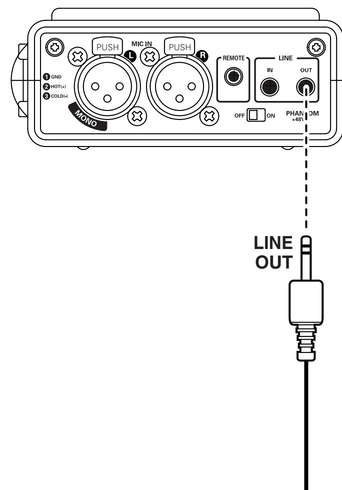
注記:

トラックの切り替わり目では、カードのスピードや録音した時間によっては音のとぎれが発生する事があります。

プリセットメニューの"**Auto Trk**"を設定します。(47ページ参照)。

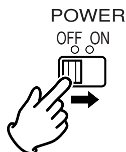
再生

結線図

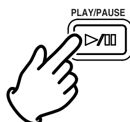


再生手順

1. POWERスイッチをON側にスライドさせて電源を入れます。



2. PLAY/PAUSEボタンを押して再生を開始します。

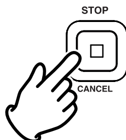


再生中はPLAYインジケータが点灯したままになります。

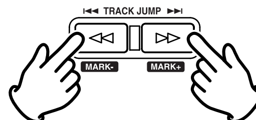


3. 再度PLAY/PAUSEボタンを押すと、再生が一時停止します。

4. STOPボタンを押すと再生が停止します。



トラックアクセス



- TRACK JUMP ⏮
  再生中にこのボタンを押すと、前のトラックにジャンプします。最初のトラックを再生中に押すと、CFカードの最後のトラックにジャンプします。

- TRACK JUMP ⏭
  再生中にこのボタンを押すと、次のトラックにジャンプします。最後のトラックを再生中に押すと、CFカードの最初のトラックにジャンプします。

サーチ

- (⏮ TRACK / MARK-) 再生ポーズ中に ◀◀ ボタンを押したままにすると、高速で逆方向のサーチができます。逆方向のサーチの速度は、最初の3秒間は10倍速、その後に140倍速まで自動的にスピードアップします。

- (JUMP ⏭ / MARK+) 再生のポーズ中に▶▶ ボタンを押したままにすると、高速で順方向のサーチができます。順方向のサーチの速度は、最初の3秒間は10倍速、その後に140倍速まで自動的にスピードアップします。

注記:

- ▶▶ ボタンを押したままトラックの終端を過ぎても、次のトラックに移動して順方向のサーチが継続します。
- ◀◀ ボタンを押し続けたままトラックの先頭を過ぎても、前のトラックに移動して逆方向のサーチが継続します。

オーディブルサーチ

- 再生中に ◀◀ ボタンを押したまま「巻き戻す」と、2倍速で逆方向のオーディブルサーチ(聴きながらの検索)ができます。

- 再生中に▶▶ ボタンを押し続けて順方向にサーチを行うと、順方向の音声を聴きながらのサーチができます。ボタンをはなすと通常の順方向再生に戻ります。

再生用オーディオ出力

再生用オーディオ出力は、プリセットメニューの"Output"より選択します。

- 内蔵スピーカーもしくはPHONESジャックに接続したヘッドホン（SP/HP）。
- LINE OUTジャックに接続されたアンプやその他のアナログオーディオ機器（LINE）。

プリセットメニューの"**Output**"を設定します（43ページ参照）。

注記:

SP/HP+LINEを選択すると、スピーカもしくはヘッドホンに出力すると共にLINEからも出力します。SP/HP+LINEを選択したときのLINE出力コントロールは本体左側にあるHP/SPKVOLで行なうことができます。
初期設定値はSP/HP+LINEです。

EDLマーク

EDL（Edit Decision List）マークは録音中に手動、もしくは自動で作成することができます。EDLは録音中のこのような特定の位置を検出するときに役に立ちます。

- 再生中にEDLマークの場所を瞬時に特定することができます。
- CFカードには255個までのEDLマークを追加することができます。
- EDLマークには、1から始まる連続した番号が付けられます。
- 録音中にMARKボタンを押すと、手動でEDLマークが追加できます。EDLマークは自動的に追加することもできます。

手動によるEDLマークの追加

一時停止、録音、もしくは再生中にMARKボタンを押すと、EDLマークが手動で追加されます。
内蔵マイクロホンを使用している場合、録音中にMARKボタンを押してEDLマークを追加すると、押したときのクリック音が録音される場合があります。

EDLマークの検索

- MARK+

停止もしくは再生の状態で、SHIFTボタンを押したままMark+ボタンを押すと、CFカードのEDLマーク間を移動できます。
表示されているEDLマークから再生を開始するためには、PLAY/PAUSEボタンを押します 。

• 

MARK-

停止もしくは再生の状態でSHIFTボタンを押したままMark-ボタンを押すと、CFカードのEDLマーク間を移動できます。表示されているEDLマークから再生を開始するためには、PLAY/PAUSEボタンを押します 。

EDLマークの自動追加

Auto Mark Menu項目は自動EDLマーク追加機能のオン/オフを行います。
手動でのEDLマークの追加方法については25ページをご参照ください。

- Auto MarkがONでPMD660が録音ポーズのとき、録音が再開すると、マークが追加されます。
- Auto MarkがONで、PMD660がサウンドしきい（サウンドとして認知される）値に満たないオーディオを3秒間以上録音していた場合は、しきい（サウンドとして認知される）値を超えるオーディオが入力されたときにマークが追加されます。

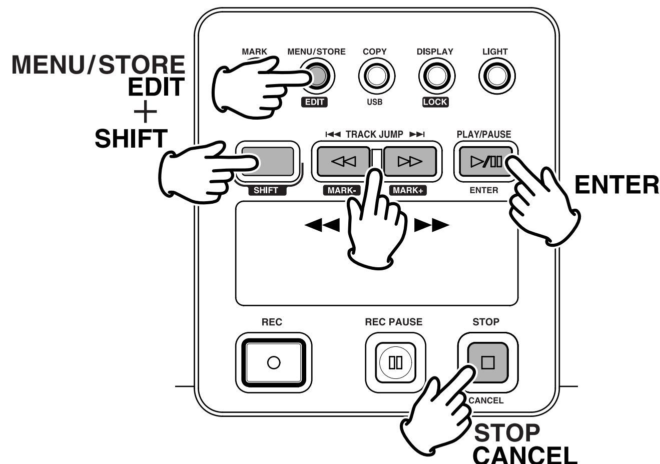
Auto Mark Menu設定では以下ができます。

- Auto Markのオンとオフを切り替えます
- -60dB、-54dB、-38dB、-20dBの無音部分を定義するマージンサウンドレベルを調節します。

プリセットメニューの"**Auto Mark**"を設定します（48ページ参照）。

Edit

停止状態でSHIFTボタンを押したままMENU/EDITボタンを押すと、Editメニューが表示されます。Editメニューでは、トラックの消去、EDLマークの消去、CFカードのフォーマットができます。



Editメニューには以下の項目があります。

1. Trk Erase
2. TrkMkErase
3. AllMkErase
4. Format

1. Trk Erase（トラックを消去する方法）

"Trk Erase"では、選択したトラックが消去できます。
消去したいトラック番号を特定します。

1. Trk Eraseを選択します。
   停止状態で、SHIFTボタンを押しながらMENU/EDITを押します。Trk Eraseが表示されます。

2. ENTERボタンを押します。
   表示はトラック番号の点滅に切り替わります。

3. 消去したいトラック番号が点滅するまで ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。

4. ENTERボタンを押します。
   トラックの消去が完了するまで、"Executing"が表示されます。
   トラックの消去が完了すると"Completed"が表示されます。
   • 表示はステップ3に戻りますので、別のトラックの消去ができます。

5. 途中で止める場合は、STOP/CANCELボタンを押します。

注記:
関連するバーチャルトラックとEDLマークも消去されます。

2. TrkMkErase（1トラック内のすべてのEDLマークを消去する方法）

"TrkMkErase"では、トラックのEDLマークをすべて消去できます。EDLマークを消去したいトラックを決めます。

1. TrkMkEraseを選択します。
   停止状態で、SHIFTボタンを押しながらMENU/EDITを押します。
   Trk Eraseが表示されます。

2. TrkMkEraseが表示されるまで、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。

3. ENTERボタンを押します。
   表示はトラック番号の点滅に切り替わります。

4. 消去したいEDLマークを含むトラック番号が点滅するまで ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。

5. ENTERボタンを押します。
   トラック内のすべてのEDLマークの消去が完了するまで、"Executing"が表示されます。トラック内のすべてのEDLマークを消去されると"Completed"が表示されます。
   • 表示はステップ4に戻りますので、別のトラックの消去ができます。

6. 途中で止める場合は、STOP/CANCELボタンを押します。

注記:
EDLマーク番号は自動的に付け替えられます。

3. AllMkErase（すべてのEDLマークを消去する方法）

"AllMkErase"ではCFカード上のすべてのEDLマークを消去します。

1. AllMkEraseを選択します。
   停止状態で、SHIFTボタンを押しながらMENU/EDITを押します。
   Trk Eraseが表示されます。

2. AllMkEraseが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。

3. ENTERボタンを押します。
   表示が"All"の点滅に切り替わります。

4. ENTERボタンを押します。
   すべてのEDLマークの消去が完了するまで、"Executing"が表示されます。
   ついで"Completed"が表示されます。
   PMD660とディスプレイは停止モードに戻ります。

5. 途中で止める場合は、STOP/CANCELボタンを押します。

4. フォーマット（CFカードをフォーマットする方法）

"Format"では、カード上のすべてのオーディオファイルが消去され、PMD660でCFカードを使用できるようになります。
CFカードがFAT16やFAT32（FAT ＝ ファイルアローケーションテーブル）以外の形式でフォーマットされていた場合は、ご使用のコンピュータでフォーマットしてください。

1. Formatを選択します。
   停止状態で、SHIFTボタンを押しながらMENU/EDITを押します。
   Trk Eraseが表示されます。

2. Formatが表示されるまで ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。

3. ENTERボタンを押します。
   表示は"OK?"の点滅に切り替わります。

4. ENTERボタンを押します。
   フォーマットが完了するまで、"Executing"が表示されます。
   フォーマットが完了すると"Completed"が表示されます。
   PMD660と表示部は停止状態に戻ります。

5. 途中で止める場合は、STOP/CANCELボタンを押します。

「バーチャルトラック」と「セグメントのコピー」

Marantz Professional PMD660は、「セグメントのコピー」や「バーチャルトラック」のような新しいファイル編集機能を取り入れた最初のソリッドステートレコーダーです。現場のレポーターを念頭において設計され、誰もがオーディオセグメントを素早く、簡単に検索し、アクセスし、活用できる方法を、数多く提供しています。

バーチャルトラック

「バーチャルトラック」によって、ファイル内に(もしくはRecFormatとRecChannelが同一の複数のファイルに渡って)、後で直接アクセスできるようにインポイントとアウトポイントが設定できます。「バーチャルトラック」とマークの付いたファイルがPMD660に保存されますので、PMD660をバーチャル再生モードにすれば、素早くアクセスすることができます。
30ページの「バーチャルトラックの作成」をご参照ください。
32ページの「バーチャル再生モードの開始」をご参照ください。

注記:

「バーチャルトラック」はカード上に保存された単なる位置情報ですので、バーチャルトラックの作成には、カードのメモリは事実上全く必要なく、実際に録音される素材のための貴重なスペースが温存されます。

セグメントのコピー

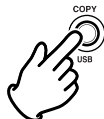
「セグメントのコピー」は「バーチャルトラック」と全く同じように機能しますが、インポイントとアウトポイントを保存して直接再生アクセスができるようにするのではなく、「セグメントのコピー」はオリジナル素材のファイルを破壊することなく、「ハイライト」したセクションを物理的に独立した新規ファイルに変換します。
31ページの「「セグメントのコピー」を使用した新規ファイルの作成」を参照して、新規ファイルを作成します。

バーチャルトラック編集モード

加えてバーチャル再生モードには編集メニューがあり、これによって1つのバーチャルトラックの新規ファイルへの変換、すべてのバーチャルトラックの新規ファイルへの変換、1つのバーチャルトラックの消去、すべてのバーチャルトラックの消去ができます。
33ページの「バーチャルトラック編集モード」をご参照ください。

バーチャルトラックの作成

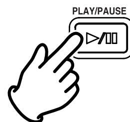
1. インポイントを作成したい場所にオーディオが到達したら、再生中にCOPY/USBボタンを押します。



"Set As IN?"が表示されます。



2. PLAY/PAUSEボタンを押して、インポイントを保存します。

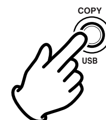


ディスプレイに"IN-"が点滅してインポイントが保存されたことを示し、ファイルの再生が再開されます。

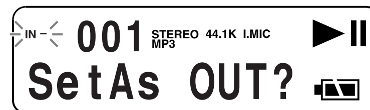


3. アウトポイントを作成したい場所までPMD660を再生し続けるか、もしくは▶▶ ボタンや ▶▶| ボタンのような標準の移動コントロールを使用して、より長時間分を早送りします。

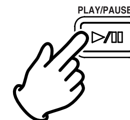
4. アウトポイントを作成したい場所に到達したら、COPY/USBボタンを押します。



"Set As OUT?"が表示されます。



5. PLAY/PAUSEボタンを押して、アウトポイントを保存します。



"Store V.Tr?"が表示されます。

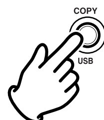


6. PLAY/PAUSEボタンを押して、セグメントをバーチャルトラックとして保存します。"Executing"が短時間表示され、次いで"Completed"が表示されます。



「セグメントのコピー」を使用した新規ファイルの作成

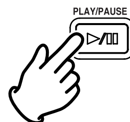
1. インポイントを作成したい場所にオーディオが到達したら、再生中にCOPY/USBボタンを押します。



"SetAs IN?"が表示されます。



2. PLAY/PAUSEボタンを押して、インポイントを保存します。

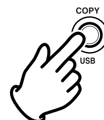


ディスプレイに"IN-"が点滅してインポイントが保存されたことを示し、ファイルの再生が再開されます。

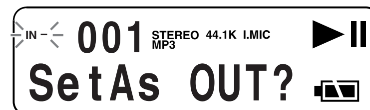


3. アウトポイントを作成したい場所までPMD660を再生し続けるか、もしくは▶▶ ボタンや ▶▶I ボタンのような標準の移動コントロールを使用して、より長時間分を早送りします。

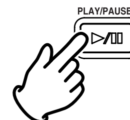
4. アウトポイントを作成したい場所に到達したら、COPY/USBボタンを押します。



"Set As OUT?"が表示されます。



5. PLAY/PAUSEボタンを押して、アウトポイントを保存します。



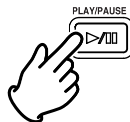
"StoreV. Tr?"が表示されます。



6. "Copy SEG?"が表示されるまで ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。



7. PLAY/PAUSEボタンを押して、コピープロセスを開始します。



ディスプレイに"Executing"が表示されます。



コピー手順が完了するとディスプレイに"Completed"が1秒間表示され、新規ファイルを現行トラックとして停止モードに戻ります。



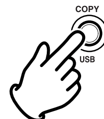
注記:

- コピー領域が2つ以上のトラックにまたがるときは、トラックは1つに連結されてコピーされます。
- 異なるRec FormatとRec Channelにコピー領域がまたがるときは、コピーはできません。
- コピー領域は80分を越えてはなりません。
- PCMセグメントをコピーするときは、処理時間はリアルタイムです。
- MP3セグメントをコピーするときは、処理時間は8倍速です。

バーチャル再生モードの開始

これでバーチャルトラックが作成されました。これを再生するにはPMD660をバーチャルトラックモードにしなければなりません。

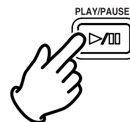
1. 停止モードからCOPY/USBボタンを押すと、バーチャル再生モードが開始します。



"V. Tr Play"がディスプレイに表示されます。



2. PLAY/PAUSEボタンを押して最初のバーチャルトラックを再生します。2つ以上のバーチャルトラックがある場合は、上側の数値ディスプレイに再生したいトラックが表示されるまで ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。 ついでPLAY/PAUSEボタンを押します。

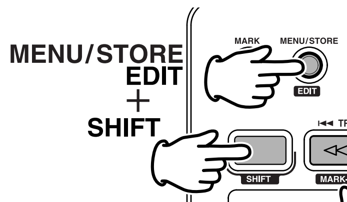


3. バーチャルトラック再生モードを終了するには次のようにします。
   バーチャルトラック再生中の場合はSTOPボタンを二度押します。
   PMD660がバーチャルトラック再生モードで停止している場合は、STOPボタンを一回だけ押します。

バーチャルトラック編集モード

通常の再生モードと同様に、バーチャルトラックにも固有の編集モードがあります。この編集モード内部では、1つのバーチャルトラックの新規ファイルへの変換、すべてのバーチャルトラックの新規ファイルへの変換、1つのバーチャルトラックの消去、すべてのバーチャルトラックの消去ができます。

1. バーチャルトラック編集モードを開始する場合は、バーチャルトラック再生モードでSHIFTボタンを押したままにし、ついでMENU/STORE/EDITボタンを押します。



次項の「1つのバーチャルトラックを新規ファイルに変換する方法」をご参照ください。
34ページの「すべてのバーチャルトラックを新規ファイルに変換する方法」をご参照ください。
34ページの「1つのバーチャルトラックを消去する方法」をご参照ください。
35ページの「すべてのバーチャルトラックを消去する方法」をご参照ください。

Copy SEG?
「1つのバーチャルトラックを新規ファイルに変換する方法」

バーチャルトラック編集モード内では、"Copy SEG?"で1つのバーチャルトラックを新規ファイルにコピーできます。

コピーするトラックを特定した後で以下を行います。

1. 編集メニューで次のようにして項目Copy SEG?を選択します。バーチャルトラック再生モードで、SHIFTボタンを押したままMENU/STORE/EDITボタンを押します。 "Copy SEG?"がディスプレイに表示されます。

2. ENTERボタンを押します。
   ディスプレイが切り替わって、上側の数値ディスプレイにトラック番号が点滅します。

3. コピーしたいトラック番号が点滅するまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。

4. ENTERボタンを押します。
   コピープロセスの実行中は"Executing"が表示されます。
   ついで"Completed"が1秒間表示されます。
   表示はステップ3に戻りますので、別のトラックのコピーができます。

5. キャンセルする場合はSTOP/CANCELボタンを押します。

Copy SEG A?
「すべてのバーチャルトラックを新規ファイルに変換する方法」

バーチャルトラック編集モードにあるときは、"Copy SEG A?"ですべてのバーチャルトラックを新規ファイルにコピーできます。

1. 編集メニューで次のようにして項目"Copy SEG A?"を選択します。バーチャルトラック再生モードで、SHIFTボタンを押したままMENU/STORE/EDITボタンを押します。
   "Copy SEG?"がディスプレイに表示されます。

2. "Copy SEG A?"がディスプレイに表示されるまで、◀◀ボタンか▶▶ボタンを押します。

3. ENTERボタンを押します。
   ディスプレイが切り替わって、上側の数値ディスプレイに"All"が点滅します。

4. ENTERボタンを押します。
   コピープロセスの実行中は"Executing"が表示されます。
   ついで"Completed"が1秒間表示されます。
   PMD660とディスプレイは停止モードに戻ります。

5. キャンセルする場合はSTOP/CANCELボタンを押します。

VT Erase?
「バーチャルトラックを消去する方法」

バーチャルトラック編集モードになっているときは、"VT Erase?"で1つのバーチャルトラックを消去できます。

消去するトラックを特定した後で以下を行います。

1. 次のようにして、"VT Erase?" 編集メニュー項目を選択します。
   バーチャルトラック再生モードで、SHIFTボタンを押したままMENU/STORE/EDITボタンを押します。
   "Copy SEG?"がディスプレイに表示されます。

2. "VT Erase?"が表示されるまで、◀◀ボタンか▶▶ボタンを押します。

3. ENTERボタンを押します。
   ディスプレイが切り替わって、上側の数値ディスプレイにトラック番号が点滅します。

4. 消去したいトラック番号が点滅するまで、◀◀ボタンか▶▶ボタンを押します。

5. ENTERボタンを押します。
   消去プロセスの実行中は"Executing"が表示されます。
   ついで"Completed"が1秒間表示されます。
   表示はステップ4に戻りますので、別のトラックの消去ができます。

6. キャンセルする場合はSTOP/CANCELボタンを押します。

AVT Erase?
「すべてのバーチャルトラックを消去する方法」

バーチャルトラック編集モードになっているときは、"AVT Erase?"ですべてのバーチャルトラックをメモリーから消去できます。

1. 次のようにして"AVT Erase?" 編集メニュー項目を選択します。
   バーチャルトラック再生モードで、SHIFTボタンを押したままMENU/STORE/EDITボタンを押します。
   "Copy SEG?"がディスプレイに表示されます。

2. "AVT Erase?"が表示されるまで、◀◀ か ▶▶ ボタンを押します。

3. ENTERボタンを押します。
   ディスプレイが切り替わって、上側の数値ディスプレイに"All"が点滅します。

4. ENTERボタンを押します。
   消去プロセスの実行中は"Executing"が表示されます。
   ついで"Completed"が1秒間表示されます。
   PMD660とディスプレイは停止モードに戻ります。

5. キャンセルする場合はSTOP/CANCELボタンを押します。

USBモード

PMD660はCFカードに直接録音します。
PMD660からCFカードを取り出すか、ご使用のコンピュータにPMD660をUSBポート経由で接続すれば、録音内容をご使用のコンピュータに転送できます。
一般的なMP3圧縮フォーマットで録音されたオーディオはイントラネットやインターネットでのファイルの共有にそのまま使用できます。

コンピュータ対応

コンピュータでは以下ができます。

- オーディオファイルの記録と保管
- オーディオファイルの再生

オーディオファイルを以下に保存できます。

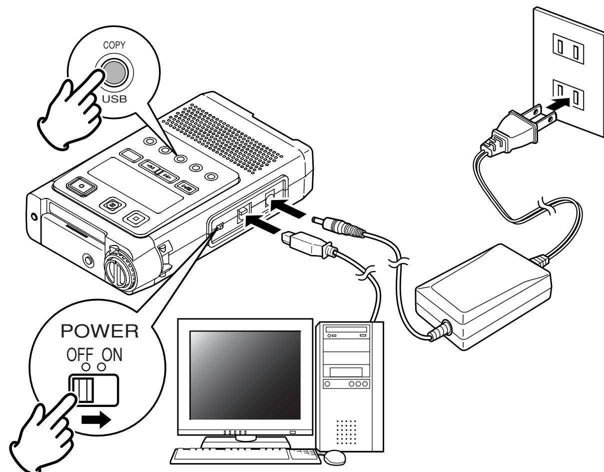
- ハードディスク
- フロッピーディスク
- CD-Rディスク

- ストリーミングオーディオファイルのウェブサイトへのアップロード
- ソフトウェアとコンピュータを使用した、デジタル録音からのテープ起こし

USBポート経由で接続する方法

PMD660内のCFカードは、接続されたコンピュータには外付けデバイスとして認識されます。

1. PMD660とコンピュータにUSBケーブルを接続します。



2. 電源オフの状態でCOPY/USBボタンを押したままにし、PMD660のPOWERスイッチをOn側にスライドさせます。
下記のように表示され、USBモードになります。

USB

- USBモード中は、PMD660は使用できません。
- PMD660内のCFカードは、コンピュータにはリムーバブルデバイスとして認識されます。
- オーディオファイルはMPGLANG1という名前のフォルダ内にあります。
- 電源をオフにしてオンに戻すと、PMD660での録音や再生が再開できます。

注記:

- USB接続は、PMD660が動作（再生、録音）していないときにだけ有効になります。

警告:

- オーディオファイル（トラック）のコピーは、別の装置（ハードディスク等）へのみ行ってください。
- EDLファイルの修正や削除はしないでください。
- EDLマークとバーチャルトラックファイルが消失するか損傷を受けている場合、PMD660はEDLマークとバーチャルトラックモードを認識できません。
- USBモード中はCFカードを取り外さないでください。データやCFカードが損傷を受けることがあります。

ファイル構造図

コンピュータにはファイル名PMD660が表示されます。MPGLANG1というフォルダ（ディレクトリ）も表示されます。MPGLANG1フォルダ内のファイルは、aaaaa001から録音されたトラックの数まで（最大aaaaa999まで）番号が付けられます。("aaaaa"の部分は"Machine ID"パラメーターに応じて変化します)。録音用に設定された"Rec Format"パラメータに応じて、ファイル拡張子は.mp3か.wavになります。

```
Root------PMD660.EDL
        ¦-----PMD660.CPY
        ¦-----MPGLANG1
             ¦---aaaaa001.MP3
             ¦---aaaaa002.MP3
             ¦---aaaaa003.MP3
```

コンピュータのファイル名やファイル構造を変更すると、PMD660のファイル認識が妨げられますので再生できなくなります。

マシンID

オーディオトラック（ファイル）には、マシンID情報があります。この情報はファイル名に含まれています。例えばマシンIDが"aaaaa"の場合、最初のファイルには番号"aaaaa001.wav"もしくは"aaaaa001.mp3"が付けられます。デフォルトの設定はMZ000です。

Machine IDを「1」に設定すると、PMD660で記録した音声ファイルをPMD570/670で再生することができます。
PMD671で再生するときはMachine IDの文字数を5文字にしてください。

プリセットメニューの"**Machine ID**"で設定します。(53ページ参照)。

その他の機能

バッテリー

バッテリーの設定

PMD660は、市販の単三形のアルカリ乾電池かニッケル水素電池4本で動作できます。
プリセットメニューの"**Battery**"で設定します。(52ページ参照)。

バッテリーインジケーター

バッテリー表示はバッテリー残量を示します。



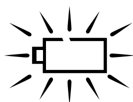
バッテリーの残量が充分であることを示します。



バッテリーの残量が中程度であることを示します。録音や再生に使用できる時間が残っています。



バッテリーの残量が低いことを示します。
録音や再生に使用できる時間がほとんど残っていませんので、新しい電池に取り替えるか、充電式の電池では充電が必要です。



点滅はバッテリーの残量が残りわずかであることを示します。

- BeepがOnに設定されていた場合は、ビープ音を発します。
- そのまま使用し続けた場合は自動的に停止します。
- 録音中であれば、PMD660はトラック情報を書き込んで録音を停止し、その後電源が切れます。
- 再生中であれば、再生を停止して電源が切れます。

自動電源オフ

停止や再生ポーズ中にPMD660が15分間動作しなかった場合は、バッテリー寿命を伸ばすために自動的に電源を切ることができます。

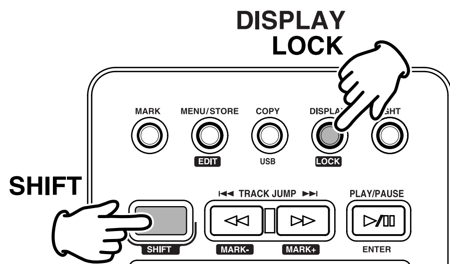
プリセットメニューの"**AutoPowOff**"で設定します。(52ページ参照)。

ビープ音アラーム

BeepがOnに設定されてバッテリーの残量が残りわずかなとき、バッテリーインジケーターが点滅すると同時にPMD660がビープ音を発します。その後電源が切れます。

プリセットメニューの"**Beep**"で設定します。(53ページ参照)。

キーロック
PMD660を録音、再生、もしくは停止の状態にロックします。SHIFTボタンを押しながらDISPLAY/LOCKボタンを押すと、KEY LOCKがオンになります。LIGHTボタンを除いて、すべてのボタンと機能が動作を停止します。



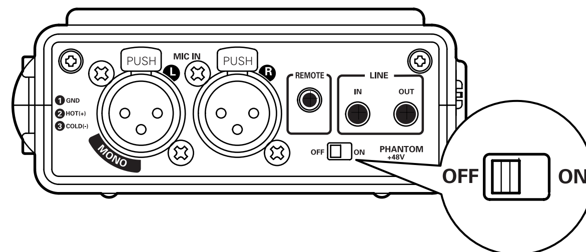
日時の設定
トラックを開始したときに、1つ1つのオーディオトラック（ファイル）に日付が書込まれます。オーディオトラックをコンピュータで表示すると、この日時はファイルが「作成された」時点として表示されます。

プリセットメニューの"**Date/Time**"で設定します。(44ページ参照)。

LEDレベルメーター
Meter Modeでレベルメーターの種類を選択できます。
- Normalでは､レベルメーターは音量レベルを普通に表示します。
- Peak Onlyでは、レベルメーターはピークレベルだけを表示します。

プリセットメニューの"**MeterMode**"で設定します。(51ページ参照)。

PHANTOM電源
このスイッチをONにすると、コンデンサーマイクロホンに+48Vの電源が供給されます。



ON: コンデンサーマイクロホン電源として+48Vが供給されます。
OFF: マイクロホンに電源は供給されません。

スイッチをオン/オフした後には、録音が開始するまで数秒かかります。

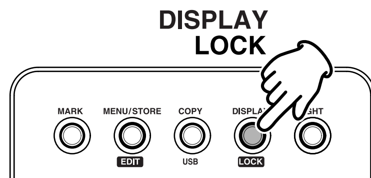
おすすめのマイクロホン
PMD660は感度が高く高品位の録音ができるので、プロ用コンデンサーマイクロホンをおすすめします。ただしPMD660のPhantom電源か別の電源が必要です。

ダイナミックマイクロホンを使用することもできますが、最適な音質での録音は期待できないことがあります。

ご自分の具体的な用途に適したマイクロホンを選択するため、ディーラーにご相談ください。

ディスプレイ

DISPLAY / LOCKボタンを押すと、押すたびに別の情報が表示されます。



表示される情報は停止中、録音中、再生中の場合で異なります。

● **停止中:**

• CFカードの残り録音時間（デフォルトの表示）
↓
• CFカードの合計EDLマーク数
↓
• 現在の日付
↓
• 現在の時刻
↓
• CFカードの残り録音時間（デフォルトの表示）

● **録音中:**

• 現在のトラックの録音経過時間（デフォルトの表示）
↓
• CFカードの残り録音時間
↓
• 録音日付情報
↓
• 録音時刻情報
↓
• 録音トラック名（マシンID）情報
↓
• 現在のトラックの録音経過時間（デフォルトの表示）

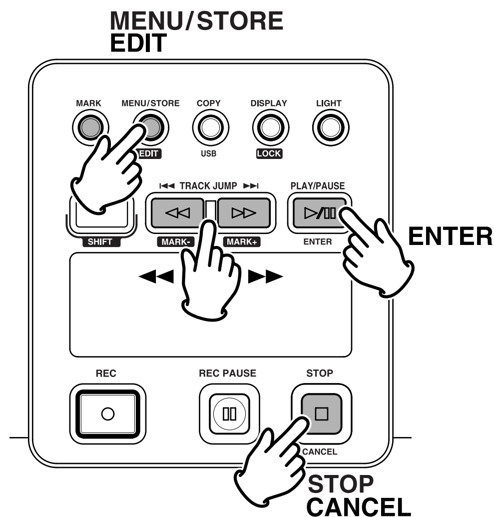
● **再生中:**

• 現在のトラックの再生経過時間（デフォルトの表示）
↓
• 現在のトラックの残り再生時間
↓
• 録音日付情報
↓
• 録音時刻情報
↓
• 再生トラック名（マシンID）情報
↓
• 現在のトラックの再生経過時間（デフォルトの表示）

プリセット設定

プリセットでは、入力の変更と日時設定のような、録音再生のパラメータの設定や変更ができます。

選択可能な3つのプリセットメニューにより、通常使用する入力、録音フォーマット、その他のメニュー項目を簡単に切り換えられます。



メニュー手順全般

1. PMD660が停止しているときに、MENU/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して希望のPreset番号を選択します。
3. 希望の番号が表示されたらENTERボタンを押して、そのPreset番号項目を選択します。
4. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してサブメニュー項目を表示します。
5. 目的のパラメータや値が表示されて点滅したら、ENTERボタンを押してそれを選択します。
6. 手順2〜5を必要なだけ繰り返します。
7. 終了したらSTOREボタンを押して変更を保存し、決定します。変更を止める場合は、STOP/CANCELボタンを押します。

プリセットのデフォルト値

Preset1、2、3に対するデフォルトのメニュー設定は、42ページのデフォルトのメニュー項目を選択すれば、初期状態にもどります。

プリセットデフォルト値の表

表示		選択範囲	デフォルトの設定		
			Preset1	Preset2	Preset3
1.	Input	INT MIC/ MIC/ LINE	INT MIC	MIC	INT MIC
2.	Output	LINE, SP/HP, SP/HP+LINE	SP/HP+LINE	SP/HP+LINE	SP/HP+LINE
3.	Date/Time	2004 - 2099 Jan - Dec 1 - 31 00:00 - 23:59			
4.	RecFormat	MP3-44.1K/ MP3-48K/ PCM-44.1K/ PCM-48K	PCM-44.1K	PCM-48K	MP3-44.1K
5.	RecChannel	Stereo/Mono	Stereo	Stereo	Stereo
6.	PreRecord	On/Off	On	On	On
7.	Manual Trk	On/Off	On	On	On
8.	Auto Trk	Off/1/5/10/15/30分、 1/2/6/8/12/24時間	Off	Off	Off
9.	Auto Mark	On/Off -60/-54/-38/-20dB	Off -38dB	Off -38dB	Off -38dB
10.	Silent Skip	On/Off -60/-54/-38/-20dB	Off -38dB	Off -38dB	Off -38dB
11.	LevelCont.	Manual / ALC / ALC+Manual	Manual	Manual	Manual
12.	Meter Mode	Normal/Peak Only	Normal	Normal	Normal
13.	Mic Atten.	0/-20dB	0dB	0dB	0dB
14.	AutoPowOff	On/Off	On	On	On
15.	Battery	Alkaline/NiMH	Alkaline	Alkaline	Alkaline
16.	Beep	On/Off	On	On	On
17.	Machine ID	5桁ASCIIコード	MZ000	MZ000	MZ000
18.	Default	---			
19.	Version	---			
	適用:		高品質、 非圧縮	最高音質、 非圧縮	音楽用 圧縮

1. Input（録音用入力を選択する方法）
録音用の音声入力はInputメニューを使用して選択します。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Inputが表示されるまで、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Inputが表示されている間にENTERボタンを押します。
   入力候補が点滅します。選択候補は、INT MIC、MIC、LINEのいずれかです。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して選択候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。
   表示がInputに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:

INT MIC入力を選択すると、I.MICが表示されます。MIC入力を選択すると、MICが表示されます。LINE入力を選択すると、LINEが表示されます。

PMD660は選択した入力を録音します。例えば選択した入力がLINEで入力ソースがLINE INジャックに接続されていなければ、PMD660は録音されません。録音の一時停止中にレベルメーターを確認してください。表示される入力レベルのLEDの片方のチャンネルにレベルが偏っている場合は、適切な入力が選択されているかどうかを確認してください。

2. Output（再生用出力を選択する方法）
再生用音声出力は、Outputメニューを使用して選択します。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Outputが表示されるまで、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Outputが表示されている間にENTERボタンを押します。
   Output の選択候補(LINE、SP/HPもしくはSP/HP+LINE)が点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して選択候補間をタブ移動します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。
   表示がOutputに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:

PMD660は選択した出力項目に出力します。例えば選択した出力がLINEの場合は、スピーカーにもヘッドホン（SP/HP）にもサウンドを出力することはできず、逆の場合も同様です。

3. Date/Time（日時を設定もしくは変更する方法）

日時は、トラックを開始したときに、1つ1つのオーディオトラック（ファイル）に書込まれます。オーディオトラックをコンピュータで表示すると、この日時はファイルが「作成された」時点として表示されます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Date/Timeが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Date/Timeが表示されている間にENTERボタンを押します。日時情報の月が点滅します。
6. 月が正しく表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
7. ENTERボタンを押して、月を確定します。日が点滅します。
8. 日が正しく表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
9. ENTERボタンを押して、日を確定します。年が点滅します。
10. 年が正しく表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
11. ENTERボタンを押して、年を確定します。時が点滅します。
12. 時が正しく表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
13. ENTERボタンを押して、時を確定します。分が点滅します。
14. 分が正しく表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
15. ENTERボタンを押して、分を確定します。
16. Date/Timeが表示されます。
17. プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
    変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
18. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:

PMD660が電源が接続されていない場合、Date/Time設定はおよそ5年間残ります。

Date/Time設定は3つのプリセットすべてに適用されます。

4. **Rec Format**
（Rec Formatパラメータを設定もしくは変更する方法）

PMD660は複数の圧縮方法で録音できます。
下記の説明と表をご参照ください。

- まず録音したい入力接続をINT MIC, MIC, LINEのうちから決定します。
- 次にPresetメニューの入力項目を接続に対応するように設定します。

RecChannelの選択候補	RecFormatの選択候補	ビットレート	ファイル拡張子
ステレオ	PCM-44.1K	1412k	.wav
	PCM-48K	1536k	.wav
	MP3-44.1K	128k	.mp3
	MP3-48K	128k	.mp3
モノラル	PCM-44.1K	705.6k	.wav
	PCM-48K	768k	.wav
	MP3-44.1K	64k	.mp3
	MP3-48K	64k	.mp3

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Rec Formatが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Rec Formatが表示されている間に、ENTERボタンを押します。Rec Formatの選択候補が点滅します。選択候補は、PCM 44.1K、PCM-48K、MP3-44.1K、MP3-48Kです。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してRec Formatの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示はRecFormatに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

5. **RecChannel**
（RecChannelパラメータを設定もしくは変更する方法）

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. RecChannelが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. RecChannelが表示されている間にENTERボタンを押します。RecChannelの選択候補StereoかMonoが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してRecChannelの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がRecChannelに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

6. PreRecord

PreRecordがOnでPMD660が録音ポーズの状態にあるときは、PMDは選択されたオーディオ入力を常に2秒間蓄えています。録音が始まると、録音開始前2秒間の音声が新規トラックの先頭に書き込まれます。この2秒間の音声により、オーディオの最初の1秒を逃さずに、録音を正確に開始する余裕ができます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. PreRecordが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. PreRecordが表示されている間に、ENTERボタンを押します。PreRecordの選択候補OnかOffが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreRecordの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がPreRecordに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

7. Manual Trk

Manual Trk（マニュアルトラックインクリメンティング）がOnのときは、録音中にRECボタンを押すとトラック数が増えます。この時点で新規トラックが作成されます。再生中にわずかな音切れが入ることがあります。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Manual Trkが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Manual Trkが表示されている間にENTERボタンを押します。Manual Trkの選択候補OnかOffが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してManual Trkの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がManual Trkに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

8. Auto Trk

Auto Trk（オートトラックインクリメンティング）がOnのときは、指定された録音時間間隔で新規トラックが自動的に始まります。

- Automatic Trackは無音です。Automatic Trackを通過して再生しても、サウンドは生成されません。
- Automatic Trackは、1、5、10、15、30分ごと、もしくは1、2、6、8、12、24時間ごとにトラックが増えるように設定できます。
- Automatic Trackによって、録音の特定の位置を簡単に検索できます。

例えば、新規トラックが1分ごとに開始されるとします。

- Minute Trackでは、トラック番号と時間との関係上、再生中に特定の移動したい箇所をより簡単に見つけることができます。
- 再生中にトラック3を選べば、録音のおよそ3分目を再生することができます。
- 10分目の先頭へ直接行くには、トラック10を選択するなど、以下同様です。

トラック番号	録音時間
#	分：秒
1	0:00 – 1:00
2	1:01 – 2:00
3	2:01 – 3:00

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Auto Trkが表示されるまで、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Auto Trkが表示されている間にENTERボタンを押します。
   Auto Trkの選択候補が点滅します。選択候補は、Off、1、5、10、15、30分もしくは1、2、6、8、12、24時間です。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してAuto Trkの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。
   表示がAuto Trkに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:

PMD660の録音音声をCDに転送したい場合、Auto Track機能を使えば、ファイルを分割するためのポストプロダクション作業の必要がなく、CDを簡単に操作できます。

9. Auto Mark

Auto Markメニュー項目は自動EDLマーク機能のオン/オフを行います。手動でのEDLマークの追加方法については25ページをご参照ください。

- Auto MarkがONで装置が録音ポーズの場合は、録音が再開されたときにマークが追加されます。
- Auto MarkがONで、PMD660がサウンドしきい（サウンドとして認知される）値に満たないオーディオを3秒間以上録音していた場合は、しきい値を超えるオーディオが出現したときにマークが追加されます。

Auto Markメニュー設定では以下ができます：
- Auto MarkのOnとOffを切り替えます
- -60dB、-54dB、-38dB、-20dBの無音部分を定義するマージンサウンドレベルを調節します。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Auto Markが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Auto Markが表示されている間にENTERボタンを押します。Auto Markの選択候補OnかOffが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してOnとOffを切り替えます。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示はサウンドレベルの点滅に切り替わります。
8. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、マージンサウンドレベルの候補を選択します。
   選択候補は、-60dB、-54dB、-38dB、-20dBです。
9. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示はAuto Markに戻ります。
10. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
    プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
    変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
11. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:

Auto Markとサイレントスキップ機能は同じレベル設定を使用します。一方が変更されると、もう一方も変更されます。

10. Silent Skip

サイレントスキップは、無音の時間があると録音を自動的に一時停止し、音が再開すると録音を自動的に再開します。
サイレントスキップは3秒間のプリセットレベルに満たない音を検索します。
そのような音の状態になると、PMD660は録音ポーズに切り替わります。プリセットレベルを超える信号が入力されると録音が再開します。

Silent Skipメニュー設定では以下ができます:
- サイレントスキップのOn/Off
- -60dB、-54dB、-38dB、-20dBの無音部分を定義するマージンサウンドレベルを調節します。

Auto Markメニュー項目がOnのときは、サイレントスキップによる録音ポーズ後の録音の再開でEDLマークが追加されます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Silent Skipが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Silent Skipが表示されている間にENTERボタンを押します。Silent Skipの選択候補OnかOffが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してOnとOffを切り替えます。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がサウンドレベルの点滅に切り替わります。
8. ◀◀ か ▶▶ ボタンを押して、マージンサウンドレベルの候補を選択します。
   選択候補は、-60dB、-54dB、-38dB、-20dBです。
9. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がSilent Skipに戻ります。
10. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
    プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
    変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
11. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:

Auto Markとサイレントスキップ機能は同じレベル設定を使用します。
Auto MarkとSilent Skipのどちらかのレベルを変えると、もう片方のレベルも変わります。

11. LevelCont.

レベルコントロールによって、録音用の入力レベルコントロールの種類を選択することができます。

- Manual: REC LEVEL調整つまみで入力レベルのコントロールができます。
- ALC: PMD660が録音入力レベルの変化に自動応答します。
- ALC+Manual: ALCを選択し、更に録音レベルを微調整することができます。
  （ALC: Automatic Level Control（自動レベルコントロール）
  = Automatic Gain Control（自動ゲインコントロール）

ALC(自動レベルコントロール)をオンにすると以下が可能です。
録音する音が小さい場合は、入力レベルを上げます。
録音する音が大きい場合は、入力レベルを下げます。
この機能は複数の発言者が存在する会議を録音するときに適しています。発言者がマイクロホンに近かったり声が大きければ自動的にレベルを下げて録音され、発言者の声が小さければレベルを上げて録音されますので、録音漏れが少なくなるからです。
ALCは音楽（歌声や楽器）の録音には適していません。録音のなかに入力レベルの移行が聞き取れることがあり、また静かなパッセージや録音環境ノイズの間に入力レベルを上げることにより、録音に「ヒス音」が入る可能性があるからです。
ALCが選択されているときは､REC LEVELつまみは機能しません。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. LevelContが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. LevelContが表示されている間にENTERボタンを押します。LevelContの選択候補(Manual、ALCまたはALC+Manual)が点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してLevelContの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がLevelContに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

12. Meter Mode

Meter Modeでレベルメーターの種類を選択することができます。

- Normal: レベルメーターは音量レベルを普通に表示します。
- Peak Only: レベルメーターはピークレベルだけを表示します。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Meter Modeが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Meter Modeが表示されている間にENTERボタンを押します。Meter Modeの選択候補ManualかPeak Onlyが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してMeter Modeの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がMeter Modeに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:

Peak Onlyが設定されていると、バッテリー寿命が長くなります。

13. Mic Atten.

Mic Atten.で、感度が異なるマイクロホンを直接使用することができます。

- 0dB: マイクロホンの減衰はありません。
- -20dB: XLR MIC INジャックに接続されたマイクロホンからの入力が20dB減衰されます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Mic Attenが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Mic Attenが表示されている間にENTERボタンを押します。Mic Attenの選択候補0dBか-20dBが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してMic Attenの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がMic Attenに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

14. AutoPowOff

PMD660が停止中もしくは再生ポーズ中に15分間使用されなかった場合は、バッテリー寿命を維持するために電源を自動的に遮断することができます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. AutoPowOffが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. AutoPowOffが表示されている間にENTERボタンを押します。AutoPowOffの選択候補OnかOffが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してAutoPowOffの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がAutoPowOffに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

15. Battery

PMD660は市販の単三形のアルカリ乾電池かニッケル水素電池4本で動作できます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Batteryが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Batteryが表示されている間にENTERボタンを押します。Batteryの選択候補AlkalineかNiMHが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してBatteryの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。表示がBatteryに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

16. Beep

バッテリーの残量が残りわずかしかないとき、BeepがOnに設定されていれば、PMD660はビープ音を発します。
PMD660が停止中もしくは再生ポーズ中に15分間使用されなかった場合は、バッテリー寿命を維持するために電源を自動的に遮断することができます。（52ページのAutoPowOffをご参照ください。）
AutPowOffがOnでBeepもOnに設定されている場合は、PMD660はビープ音を発して電源が切れることを警告します。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Beepが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Beepが表示されている間にENTERボタンを押します。
   Beepの選択候補OnかOffが点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してBeepの候補を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。
   表示がBeepに戻ります。
8. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
9. 表示は停止状態へ戻ります。

17. Machine ID

オーディオトラック（ファイル）には、マシンID情報があります。この情報はファイル名に含まれています。
例えばマシンIDが"aaaaa"の場合、最初のファイルには番号"aaaaa001.wav"もしくは"aaaaa001.mp3"が付けられます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1,2,3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Machine IDが表示されるまで、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Machine IDが表示されている間にENTERボタンを押します。
   マシンIDの最初の文字が点滅します。
6. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、文字を選択します。
   そこでマシンIDを終了したい場合はスペース文字（全点灯の点滅）を選択します。
7. 適切な選択候補が表示されたら、ENTERボタンを押します。
   次の文字が点滅します。
   すべてのマシンIDの文字が適切になるまで、手順6と7を繰り返します。
   スペース文字を選択したときはMachine ID表示に戻りますので手順9に進みます。
8. 最後の文字の設定が終了したら、ENTERボタンを押します。
   表示がMachine IDに戻ります。
9. 編集を続けたい場合は、◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押して、その他のメニュー項目を選択します。
   プリセットの編集が完了したらMENU/STORE/EDITボタンを押して変更を決定します。
   変更を行わずにメニューモードを終了する場合は、STOP/CANCELボタンを押します。
10. 表示は停止状態へ戻ります。

注記:
Machine ID設定は3つのプリセットすべてに適用されます。

18. Default

Defaultメニューを選択すると、Preset内の（Editメニューを除く）すべてのメニュー項目がデフォルト値に戻ります。
新規のPreset構成を設定する場合はこの機能は便利です。
すべての設定がデフォルトであることが明らかなので、設定をすべて確認する必要がありません。

注記:

メニューのデフォルトについては、42ページの表をご参照ください。
メニュー項目ごとに、デフォルトが表示されます。

1. 停止状態でMENU/STORE/EDITボタンを押します。
2. ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押してPreset1、2、3のいずれかを選択します。
3. ENTERを押して、選択したプリセットを決定します。
4. Defaultが表示されるまで、 ◀◀ ボタンか ▶▶ ボタンを押します。
5. Defaultが表示されている間にENTERボタンを押します。
   OK?が点滅します。
6. ENTERボタンを押します。
   表示は停止状態へ戻ります。

故障かなと思ったら

故障かなと思っても、販売店や技術サービス部門に相談する必要がないことがよくあります。以下の項目に基づいてご確認ください、多くの問題をご自分で簡単に解決することができます。それでも正常に動作しない場合は、販売店にご相談してください。

PMD660の電源が入らない。
- 新しいバッテリーを取りつけてください。
- ACアダプターの接続を確認してください。

PMD660の電源がオンになった後、自然にオフになってしまう
- 新しいバッテリーを取りつけてください。

録音はしているようだが、再生すると音が出ない
- 入力設定を確認してください。
  （例えば、LINE入力が選択されておりLINE INジャックに入力が接続されていない場合、PMD660は無音を録音し、再生はしません。）
- 出力設定を確認してください。
  （例えば選択した出力がLINEの場合はスピーカーにもヘッドホン（SP/HP）にもサウンドを出力することはできず、逆の場合も同様です。）

ヘッドホンもしくは内蔵スピーカーから再生音が出ない
- HP/SPK VOLコントロール設定を確認してください。
- 別のトラックもしくはCFカードで確認してください。
- 出力設定を確認してください。

録音ができない

- 最大トラック数の999トラックまで録音されていないか確認してください。
- PMD660がCFカードを認識するか確認してください。

マイクロホン入力からの信号がない

- 入力選択を確認してください。
- RECレベルコントロール設定を確認してください。
- マイクロホンにPhantom電源が必要かどうかを確認してください。

ノイズが大きすぎる

- ケーブル接続を確認してください。必要であればケーブルを交換してください。
- ゲインレベルが適切かどうか確認してください。

PCで再生すると音質が悪い

- PCサウンドカードの品質とプログラムを確認してください。
- 周波数変換プログラム*を確認してください

* PMD660はサンプリング周波数48kHzでオーディオファイルを録音することができます。
PCプログラムによってはオーディオファイルを44.1kHzに変換します（サンプルレートコンバータを使用）。高品質なサンプルレートコンバータをご使用下さい。

コンピュータでファイルを読み取れない

- コンピュータプログラムの機能をチェックしてください。再生や編集プログラムのなかには、MP3もしくはBroadcast Wave（.wav）フォーマットに対応していないものもあります。

PMD660の動作が不安定な場合は、電源をオフにしAC電源の接続を外し、バッテリーを取り外してPMD660をリセットしてみてください。

お手入れとメンテナンス

柔らかい布を、水に溶かした中性洗剤でかるく湿らせて使用してください。
頻繁に使用するメディアカードは時折再フォーマットして、何回も上書きされることによる問題を避けてください。

エラーメッセージ

表示	説　明
CF Card	
No Card	CFカードが挿入されていないかカードか検出されない。
Unformat	CFカードの初期化の失敗もしくはFAT16、FAT32以外のフォーマット。
Full Card	CFカードの残り容量が数キロバイト以下。
Full 999	CFカードのトラック数が最大の999に達した。
Full Mark	CFカードのEDLマーク数が最大の255に達した。
No Track	トラックファイルが検出されない。
VBR	VBRファイルが順送りされている、もしくは巻き戻されている。
No Mark	トラックファイルのマークが検出されない。
Can not...	無効な操作。
LowBattery	バッテリ電圧が低い。
Need DC IN	PMD660にACアダプタが接続されていない。
Bad File	ファイル設定に関してメニュー設定が検出されない。もしくはファイルエラー。
Err FS	ファイルバージョンの不整合もしくはファイルシステムエラー。
Full V99	コピートラック(Virtual Track)ファイルのトラック数は99。
No V.Track	コピートラック(Virtual Track)ファイルが検出されない。
Limit 80m	コピートラック(Virtual Track)の設定時間が80分を超えている。
Err Format	ファイルフォーマットがサポートされていない。
Others	
Err DSP	DSP処理エラー。
Err Card	CFカードもしくはファイルの処理エラー。
Err RTC	RTC処理エラー。
Err EEPROM	EEPROMエラー。
Err SRAM	スタティックRAMエラー。
Err Flash	フラッシュROMエラー。

仕様

デジタルオーディオシステム

システム .... ソリッドステートレコーダー
利用可能メディア .... CFメモリーカード
マイクロドライブ

録音とメディアの方式
mp3 .... MPEG1 Layer III圧縮
PCM 16ビットリニアPCM

録音ビットレート
MP3モノラル .... 64 kbps
MP3ステレオ .... 128 kbps

サンプリング周波数 .... 44.1kHz、48kHz
チャンネルの数 .... 2（ステレオ）、1（モノラル）
周波数特性 .... 16,000 Hz（-0.5dB）

S/N比
IEC-A加重 .... LINE 80 dB
MIC 60 dB

0 VU（PCM）での全高調波歪み .... LINE 0.06%
MIC 0.15%

ダイナミックレンジ .... 80 dB

入力

MIC IN L/R
タイプ .... XLR（1:GND、2:HOT、3:COLD）
入力感度（MIC） .... 1.2 mVrms/6.5 kohms

LINE IN
タイプ .... ミニジャック
入力感度 .... 300 mVrms/20 kohms

出力

LINE OUT
タイプ .... ミニジャック
標準レベル .... 2 Vrms max./2 kohms

一般

ヘッドホン出力 .... 8 mW/ 16 ohms
スピーカー出力 .... 150 mW/ 8 ohms
Phantom電源 .... + 48V、5mA

消費電力
録音/再生 .... 4.0 W（DC）
バッテリー寿命（アルカリ）............ 4時間（標準値）

寸法
幅 .... 113 mm
高さ .... 46.5 mm
奥行 .... 183.5 mm
重量 .... 0.5 kg

付属アクセサリー

ACアダプター 1
USBケーブル 1
オーディオケーブル 1
ストラップ 1
ネジ（ISO 3x10 mm）.. 2
プラスチックピンとリテーナー 1
ユーザガイド 1

別売アクセサリー**

（説明と注文情報については、www.dm-pro.jpをご参照ください。）
ワイヤードリモート RC600PMD

* 仕様は予告なしに変更されることがあります。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
   お買い上げ販売店、または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または弊社営業所・サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度54ページ「故障かなと思ったら」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品　名　Solid State Recorder
2）品　番　PMD660
3）お買上げ日　年　月　日
4）故障の状況　（できるだけ具体的に）
5）ご住所
6）お名前
7）電話番号

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

プロフェッショナルビジネスカンパニー

本　　社　〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町２－１　D&Mビル
営業本部　〒104-0033　東京都中央区新川１－２１－２
茅場町タワー13F

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

http://www.dm-pro.jp

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Printed in Japan

2006/02　00M20BS851112　ecmf-g